

平成22年度第3回さぬき市温泉施設等検討委員会 会議要旨(要約)

- 1 日 時 平成22年 9月 3日(金) 13:30~15:45
- 2 場 所 さぬき市役所3階302会議室
- 3 出席者[委員] 犬飼会長 谷副会長 堀井委員 安西委員 筑後委員
 山下委員 矢木委員 平野委員 頼富委員 井下委員
 藤井委員 江崎委員 野崎委員
- [(財)かがわ産業支援財団] 2名
 [事務局] 吉原部長 六車課長 浅川副主幹 徳竹
 [傍 聴] 4名
- 4 議 題 調査業務結果報告について
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	【事務局挨拶】
(会長)	お集まりありがとうございます。施設を見て、4つの温浴施設をどうしていくか話し合いたい。事務局から簡単に調査の概要報告をお願いします。
(事務局)	【報告書に基づき説明】
(会長)	全体を見る前に問題がありそうな所から順に話しあいたい。施設別の営業損益を見ると4つの中でも比較的問題がありそうなのは、ながおと大串、まずツインパルながおに関する忌憚のないご意見をお願いしたい。
(委員)	13ページの5)施設別主要コストの構成比の表に記載の人件費と12ページの表に記載の人件費がみろくだけ違っている。どうしてか?
(支援財団)	財務諸表には3つの形態がある。税務署に申告する法人税の財務諸表、2つ目がカメラ温泉等のからみから事業支出として上げている報告書、もう1つが、管理会計上どう考えるかという報告書。それぞれ相応しいやり方で、例えば人件費、その差。
(委員)	それを鑑みるとみろくが一番営業赤字が大きい。
(支援財団)	ご指摘の通り。それを入れないまま今日まで来ている。
(委員)	ながおが一番可能性がある。逆に大串とみろくが足を引っ張っている。
(会長)	みろくについてはご指摘の点、私も問題認識してなかったが、ながおについてはやり方次第で可能性があるし、逆に大串は問題が結構ある。
(委員)	データがあまり信頼できない仕様であるようだ。
(会長)	確かに。数字はそこまでの信頼性はないようだ。
(支援財団)	同感です。
(委員)	さぬき市における温浴施設の数から人口比から見ると異常に多い。公共の4件以外に民間も合わせて7施設あるが、3件くらいが適正ではないか。
(会長)	当然、閉鎖というのも含みで議論していく。ただ、例えばツインパルな

	<p>がおを本当に温浴施設ニーズとして分類するかということ、体育館やプールもあり、他のニーズが結構ある。それを含め、どこの施設にどういうニーズ、役割を期待するのかということ、統廃合を考えていくべき。</p>
(委 員)	<p>聞いていると、4つの内何個かは廃止統合するような方向に進んでいるようだが全体的に生き残れるかどうかを話合って、生き残れないならどうするか、という話をすべきではないか？</p>
(会 長)	<p>どちらの意見を採用してもかまわない。全部を残すべきだという意見があっても当然かまわない。</p>
(委 員)	<p>財務とか経営管理とか人事管理等専門の人を置くなどの対策が今までできていないのか、それとも施設の方で努力をしたけど努力が実らないのか。報告を見ると、施設の方の悩み、がんばっている様子が全然出てこない。</p>
(委 員)	<p>香川県の温浴施設の大半は民間。本来民間なら全くペイしない。そんな施設にしてしまっている。職員がどれだけ努力をしても黒字になる筈がない施設にしている。「努力をお願いします」と言っても、限度がある。</p>
(副会長)	<p>会の進行ですが、皆が等しく話して、後で整理してまとめてはどうか。</p>
(会 長)	<p>副会長さんの言う通り。順番にご意見をお願いしたい。</p>
(委 員)	<p>いくつか無くし、後の施設の生き残りに賭ける方がいい。</p>
(委 員)	<p>クアパーク津田とカメリア温泉もある程度考えて、4施設だけをターゲットにせず、その位置と経営状況も考えて検討していくべき。</p>
(委 員)	<p>市の真ん中に一つ体育館からいろんな福利施設を持った温泉を一つドンと建てて、その代わり全部の温泉を無くす。という構想でもいい。</p>
(委 員)	<p>老人会の立場としては、施設を全て残してもらいたい。検討委員会の結論がどうなるかが、福祉という面において何とか合理的な運営をして、老人が喜んで行ける施設に体質を改善してほしい。</p>
(委 員)	<p>利用者の立場から。市内の温泉に足が遠のいたのは、ちょっとしたサービスやポイント、そういう魅力が無くなった。ながおのサウナは熱過ぎてヒリヒリする。等が原因。個々の魅力を引き出すような努力をしてほしい。</p>
(委 員)	<p>ベッセル大内はお風呂も簡単にに入れて朝から夕方までくつろげる場。大串も春日もゴタゴタして落ち着かない。利用者の声を聞いて、福祉施設も大事だが、老人だけの福祉でなく、誰でも利用し易い施設にしてほしい。</p>
(委 員)	<p>各施設良いところがある。全て潰れてもかまわないが、それまでの努力が一番必要。</p>
(委 員)	<p>国内外の観光客にも目を向け、旅行会社を通して観光客を増やす努力をしては。共働きの親御さんの為に預かった子供をお風呂に入れるサービスをしている保育園の事例がある。施設でのお泊り保育を勧める方法もある。</p>
(委 員)	<p>ノウハウを持つ人が居ない事が問題。クロスが剥がれガムテープで貼った所に誰が泊まります？さぬき市の恥を売っている。なら閉鎖した方がいい</p>

	<p>い。体質が大きな問題。民間に任せの方が行政も楽になる。従業員も使ってもらおう。継続するなら、行政は補修メンテナンス予算を計上する用意があるのか？大串は80人泊まれるのに、お風呂は一度に4人しか入れない。団体を受け入れても対応できない。使っていない風呂があるならメンテナンスして使うべき。可能かどうか結果は私達に求めずとも行政の方で分かる。責任を私達に転嫁しているみたい。</p>
(委員)	<p>報告書の対策を本気でやれば、ある程度の出費を抑えることが出来るのでは。初めから廃止する事には反対したが、絶対にスリム化を図っていかなければならない。</p>
(副会長)	<p>再建派と統廃合派の意見が出た。再建派なのか統廃合派なのか結論を出していきたい。</p>
(会長)	<p>では、具体的にどうしていくかという話し合いを行いたい。</p>
(委員)	<p>19ページの旧態依然の組織体制の事実。これではどうしようもない。この席に評議委員会の方と行革の方がおられますが、意見を出しても改善されないのでは意味がない。</p>
(委員)	<p>理事会が年に1・2回しか行われないので、回数を増やす提案はした。決算書と事業計画書について検討し、クレームがかなり出たのは事実。ただ、具体的対策の話はなかった。</p>
(委員)	<p>何のために評議委員や公社があるのか。勘ぐると、市の方で既に決まっているのではないか？</p>
(会長)	<p>ここから先どうするかを考えると話が進む。財団さんにオブザーバーとして、アドバイスをもらいたい。</p>
(支援財団)	<p>現状維持派が3名、統廃合派が3名、残りは、「努力次第」「今こんな大きな問題を取り上げるべきではない」「時期が早すぎる」といった意見。</p> <p>こういう段階で、今廃止が残すかに至る前にもっと調査すべき。状況を認識した上で、5年後10年後をシュミレーションして、本当に採算が合うか数字で表さないと検討できない。今後いくらお金がいるのか。福祉で残せと言うのなら、市民税を上げてもいいか？それでも皆さん甘受しますか？を数値で表さないと、これ以上の議論は進まない。</p> <p>根本的な問題は人口の減少。高齢化で消費額は減る。施設の利用者を現状維持するだけで精いっぱい。現状維持にお金をどれだけかけるか。また市民が地元の施設を利用できるか、ここにかかっている。マネジメント不在は内部環境の問題だから解決できる。ところが外部環境の変化はどうしようもない。市にいかにか人を呼ぶかだが、外部から人を呼ぶ前に市民が使わないとどうしようもない。市、公社だけの問題でなく、見逃してきた市民の皆さんが一番の責任者。別に市をかばう訳ではない。市民の皆さんの今後の対応如何につきる。</p>

(会 長)	皆さんがお金を出してもいいの何か、を具体的なレベルで考えてほしい。皆さんの議論はやや抽象度が高い。次回は4つの施設について具体的な話しを進めていきたい。事務局の方、次回の日程調整をお願いします。
(事務局)	では、次回会議は10月15日(金)午後1時30分から行います。本日はご苦労様でした。